

放課後デイサービス・事業所における自己評価結果（公表）

チャイルドハート住吉

公表：令和 5年 2月 1日

事業所名 チャイルドハート住吉

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点を記載した改善内容又は改善目標
環境 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	0	3	3	現在限られたスペースを活かして発散活動に向けて対応しています。それぞれの児童同士で話し合い時間を分けて使うこともあります。
	②	職員の配置数は適切であるか	6	0	0	10名定員に対し、最低基準である2名は満たしているため、十分であると感じます。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	-	-	-	バリアフリーに関して、身体に不自由がある児童を受け入れる場合配慮しなければならないと県より提示があり、現在対象児童がいないため回答不要になります。
	④	業務改善を進めるためのP D C Aサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	0	1	職員ミーティングの時間に振り返りと、当日の目標設定を行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0	0	今年度におきましても貴重なご意見ありがとうございました。引き続き業務改善すべき点において質の向上を目指していきます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	0	0	今年度よりHPにて公表を行い、取り急ぎ保護者様へは、この面を持って告知します。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	2	3	外部評価については、グループ全体で考慮中です。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	0	毎月、事業所内研修を行っています。コロナウイルスの影響もありますが現地に赴くことは難しいのが現状ですがオンライン研修等も行っております。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	今後も成長を促していくよう、ニーズの把握に努めてまいります。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1	0	今後も適宜変更して参ります。

の 提 供	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	2	0	職員ミーティングを通して行っています。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	2	0	個々に活動を通して充分に発散したうえで集団遊びを展開しています。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細かに設定して支援しているか	5	1	0	その都度児童の実態に合わせて課題を設定し対応しています。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	毎日の職員ミーティングで活動が固定化されないよう、児童の特性を含めて計画を作成しております。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	2	0	支援開始前には職員ミーティングをおこなっています。今後も支援員間で一貫した支援が行えるよう努めています。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	4	0	支援後、退勤の職員もいるため翌日の職員ミーティングの際に振り返りを行っています。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	0	
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	0	職員全員で振り返りを行っています。
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	6	0	0	
	⑳ 障害児相談支援事務所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	0	
	㉑ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の通路)を適切に行っているか	6	0	0	下校時刻の間違えなどがあり都度改善を行います。今後も連携を取り安全に送迎を行えるよう配慮致します。
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	-	-	-	現在、医療ケアが必要な利用児がいません。
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	3	0	今年度は児童発達支援事業所・相談支援事務所等を中心に情報共有を行いました。

保 機 関 と 保 護 者 と の 連 携	② 学校を卒業し、放課後等ディサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	5	0	今年度は相談支援事業所を通じて、対象児童の情報共有を行いました。
	③ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	0	1	オンライン研修等を利用しています。また関係機関との情報共有を行っており、すべての指導員に認知できるように周知してまいりたいと思います。
	④ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	4	0	公園へ出掛け、地域の子ども達と一緒に遊ぶ機会がありますが、交流可能かどうか今後も検討したいと思います。
	⑤ (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	3	1	1	「自立支援協議会 子ども部会」のメンバーとして長崎市全体の指導力向上の為に貢献しています。
	⑥ 日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	0	主に送迎時・連絡帳への記入、及び面談時・電話相談を行っています。
	⑦ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	4	1	送迎時・電話相談などで対応しています。また研修を通して適切な対応が出来るようにしたいと思います。
	⑧ 運営規定、支援の内容、利用者負担額等について丁寧な説明を行っているか	6	0	0	ご質問があった際など必ず対応させていただいております。
	⑨ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	0	
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	⑩ 父母の会の活動を支援し、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	2	2	令和4年度の夏休みを利用して親子参加型イベントを開催しました。
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	0	
	⑫ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子供や保護者に対して発信しているか	6	0	0	
	⑬ 個人情報に十分注意しているか	6	0	0	

⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	2	0	
⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	1	4	イベントに招待したことはありませんが地域のイベント等参加するよう前向きに考えていきます。
⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	0	0	今後もマニュアルの更新、新規に作成した際にお渡し致します。
⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	0	引き続き今後も年2回以上の火災・自然災害を想定した避難訓練を実施したいと思います。
⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	0	毎年、研修を行っています。
⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	3	0	虐待防止研修を通して、身体拘束について学んでいます。現在、サービス計画に必要性がある児童がおりませんが今後必要性が見受けられた場合対応していきます。
⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	2	0	現在、アレルギー対応児童がおりません。
⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	0	目に見える所へ掲示し、アルバイトも含め共有出来る様に工夫しています。